岩盤ボーリング柱状図

調査名 主要地方道　千代田八千代線　道路改良事業に伴う設計業務委託

事業・工事名 令和4年度 主要地方道　千代田八千代線道路改良事業に伴う設計業

調査目的及び調査対象 道路　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.1	調査位置	広島県山県郡北広島町南方	北緯	34° 35’ 40.5800″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所	調査期間	令和4年 9月27日～ 令和4年10月 3日	東経	132° 34’ 02.3500″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 300.55m	角度	180° 上 下 0° 90° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	53° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機: / エンジン: ヤンマーNFD150型 / ポンプ: 東邦BG-3

地質・コア

深度区間 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分
0.00–1.70	298.85	1.70	崖錐堆積物	茶～茶褐						
1.70–5.20			流紋岩	淡緑茶	w4	h3	D	Ⅳ	c	D
5.20–5.80			流紋岩	淡緑茶	w2	h2	C	Ⅱ	b	D
5.80–8.00	292.55	8.00	流紋岩	淡緑茶	w3	h3	C	Ⅳ	c	D (～7.00) / CL
8.00–10.00	290.55	10.00	流紋岩	淡緑茶～暗青	w3	h2	C	Ⅲ	b	CL

コア採取率 (%)・最大コア長 (cm)・RQD [%]

深度 (m)	表示
0–1	(100)
1–2	0[0](100)
2–3	2[0](100)
3–4	15[15](100)
4–5	5[0](100)
5–6	36[46](100)
6–7	3[0](100)
7–8	6[0](100)
8–9	12[22](100)
9–10	17[42](100)

記事

地表面から10cm程度は草・根および腐植土となる。全体的に細粒土を主体とし，礫が混在する状態とある。礫は，φ2～15mm程度の角礫を主体とする。深度方向に礫の混入量多くなり，転石を含む。

採取されたコアは，やや珪質がかった流紋岩である。

全体的に風化・亀裂が進行しており，礫状～岩片状コアを主体とする。

亀裂面は，褐色に変色しており，粘性土なものを挟む。

岩片自体は比較的硬質である。観察による岩級区分は，D級主体となる。

採取コアの状態がやや良くなる傾向が見られる。

観察による岩級区分は，D～CL級

孔内水位／測定月日

月日	水位 (m)
10/1	0.90
10/3	1.80
9/28	2.80
9/30	3.68
9/29	4.25
	4.55
10/1	6.67
10/4	7.40

標準貫入試験

N値	深度 (m)	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量
50以上	1.15–1.43	50/280	280
50以上	2.15–2.39	50/240	240
50以上	3.15–3.38	50/230	230
50以上	4.15–4.25	50/100	100
50以上	5.15–5.24	50/90	90
50以上	6.17–6.29	50/120	120
50以上	7.00–7.02	50/20	20
50以上	8.00	貫入不能	

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
9/27	100	66/ケーシング	打込み/打込みシュー	0	0	0	W1/0	0
9/28	50	66/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤ	5	240	0	W2/3	0
9/29	50	66/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤ	10	240	0	W5/3	0
9/30	50	66/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤ	10	240	0	W5/3	0
10/1	50	66/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤ	10	240	0	W5/3	3
10/3	50	66/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤ	10	240	0	W5/3	3